



あれから
10年
どうして!?

サウダヂ SAUDADE

デジタルリマスター版

10th anniversary
SAUDADE
Digitally remastered version

監督: 富田克也

共同脚本: 相澤虎之助 富田克也 撮影: 高野貴子 録音: 山崎巖 助監督: 河上健太郎 スチール: 廣瀬育子

デザイン: 今村寛 エグゼクティブプロデューサー: 笹本貴之 プロデューサー: 伊達浩太郎 富田智美

製作: 空族 「サウダヂ」製作委員会

協力: 青木しほ 富士の国やまなしフィルム コミッション DOOM! カポエイラ ナラハリ bold

www.saudade-movie.com/

出演: 鷹野毅 伊藤仁 田我流 川瀬陽太 尾崎愛 ディーチャイ パウイーナ 工藤千枝

デニス オリヴェイラ デ 浜津 イエダ デアルメイダ 森 ファビオ ユウジ 島崎ファビオ

Sillichimiya 亜矢乃 熊田ちか 野口雄介 中島朋人 (映画アルバトロスケット)

笹本貴之 樋川光次 林貴子 鷹野勝利 村田進二 隅田靖 宮台真司 カポエイラ ナラハリ

第33回
ナント三大映画祭
グランプリ
金の気球賞

第66回
毎日映画コンクール
日本映画優秀賞
& 監督賞

第26回
高崎映画祭
最優秀作品賞

キネマ旬報
2011年
日本映画
年間ベストテン
6位

KUZOKU
族
Independent Film Maker

「富田克也監督特集上映 2021」

主催: プライツ・フィルム

[SAUDADE] 2021年/35mm→DCP/5.1ch/167min

あらずし

山梨県・甲府。人通りもまばらな
中心街、シャッター通り。
HIPHOPグループ「アーミービ
レッジ」のクルー・猛は“派遣”で
土方として働き始める。そこで、
土方ひとすじに生きて来た精司
や、同じく派遣されてきた、タイ
帰りだという保坂に出会う。タイ
バブに連れて行かれ盛り上がる
精司や保坂に違和感を覚え、
やがて外国人を敵視するよう
になる猛はある行動に出る…

10th anniversary
SAUDADE
Digitally remastered version

KUZOKU
presents
SAUDADE



土方・移民・ヒップホップ

2011年に公開した『サウダーチ』は山梨県甲府市を舞台に、北京オリンピック、リーマンショック後の大不況で行き場を失った日系ブラジル人たち、出稼ぎにきたタイ人、そして国籍の選択をせまられているその子供たちとの出会いから着想を得、疲弊しきった地方都市を描くことになった作品である。

そして、あれから一体何が変わったのだろうか？

精司がバブル時代を幻想し猛がラップしながら歩いた、あのアーケード街のシャッターは今も閉まったままだ。

ポルトガル語の「サウダーチ」という言葉には失われたものへの郷愁とともに未来への祈りが込められているという。

『サウダーチ』を公開したその年、福島で人災としては最悪の核爆発が起こり、わたしたちはもう二度と後戻りできなくなってしまう。

あれから10年一。“災害と疫病と分断”のこの時代に
『サウダーチ』は新たな意味を持ち始めている。



監督・富田克也は当時トラック運転手をしながら、相澤虎之助ら仲間と共に、映像制作集団「空族」を勝手に名乗り、1年半の歳月をかけて自主制作でこの映画を作り上げた。2011年に公開されると、ナント三大映画祭グランプリ、ロカルノ国際映画祭独立批評家連盟特別賞を受賞。国内でも幾多の賞を獲得し、その年のキネマ旬報ベスト・テンでも6位に輝いた。まさに日本映画界に大旋風を巻き起こしたのが本作だ。当時は、映画館もデジタル化の流れが推し進められていた時期に、あえて35mmフィルムでの上映を敢行するという暴挙も話題となった。

主演のひとり、猛を演じたのは、山梨のヒップホップクルー-sitllchimiyaのラッパー田我流。本作公開後に発

表された「B級映画のように2」(12年)が発表されると、一躍、日本のヒップホップ界を牽引するラッパーとしてその名を広めた。シャッター街で、この国の腐りきった現状をフリースタイルでラップする姿は、映画史に残るシーンとして今も名高い。

空族はその後タイ・ラオスオールロケ『バンコクナイツ』(16年)、仏教をテーマに据えた『典座 TENZO』(19年)と変わらず規格外の作品を制作し続けている。そして、来るべき『サウダーチ』の続編的な作品も現在、山梨で釣りをしながら構想中だという。今後の空族の動向を待ちつつ、10年後の『サウダーチ』をデジタルリマスター版で是非、お楽しみ頂きたい。